



HOTEL
METROPOLITAN
SAITAMA-SHINTOSHIN JR-EAST

報道関係各位
ニュースリリース

2024年9月13日
日本ホテル株式会社
ホテルメトロポリタン さいたま新都心

～懐かしい電車に思いを馳せて～

「クハ 481 形式」「帝都高速度交通営団 500 形」鉄道模型展示

ホテルメトロポリタン さいたま新都心（所在地／さいたま市中央区、総支配人／櫻井浩一）のカフェ クロスヤードでは、2024年9月13日（金）～2025年3月31日（月）（予定）までの期間限定で「クハ 481 形式」「帝都高速度交通営団 500 形」の鉄道模型を、秋を感じる季節の装飾と共に展示します。



「クハ 481 形式」「帝都高速度交通営団 500 形」鉄道模型展示 概要

- ◇期間：2024年9月13日（金）～2025年3月31日（月）予定
- ◇展示場所：ホテルメトロポリタンさいたま新都心 5階
カフェ クロスヤード センターテーブル
- ◇展示模型：「クハ 481 形式」「帝都高速度交通営団 500 形」
鉄道模型 ※写真撮影可能です



ホテルメトロポリタン さいたま新都心

本件に関するお問い合わせは、日本ホテル株式会社 ホテルメトロポリタン さいたま新都心 広報担当 小林まで
〒330-0081 埼玉県さいたま市中央区新都心 11-1 TEL 048-851-1126
E-mail masashi-kobayashi@metropolitan.jp



「クハ 481 形式」

クハ 481 形式は、大阪・名古屋～富山間を結ぶ交流 60 Hz 対応の交直流特急電車として 1964 年に登場しました。

151 系をモチーフにしていることから、ボンネット型という前に大きく突き出た形が特徴的で、色はいわゆる「国鉄特急色」という赤色とクリーム色が基調となっています。主に特急「雷鳥」、「しらさぎ」、「やまびこ」、「ひたち」等として運用されていました。

「帝都高速度交通営団 500 形」

1957 年から 1996 年まで帝都高速度交通営団（現：東京地下鉄）で運行していた通勤型電車。

1954 年の池袋－御茶ノ水間の丸ノ内線開業に伴い、300 形が先駆けて誕生。利用者の増大により、輸送力がより必要となり、開業から 3 年後の 1957 年に 500 形を導入しました。

当初より丸ノ内線ならではの「赤い電車」として親しまれ、この斬新なカラーリングや当時ではまだ珍しかった両開きドアを採用したりと、現代の鉄道に通じる仕様となっていました。



※備考

- ・写真撮影は可能です。
- ・お手は触れないようにお願いいたします。
- ・観覧料は無料です。
- ・予告なく終了する場合がございます。予めご了承ください。

お問合せ（読者）：Tel. 048-851-1111 ホテルメトロポリタン さいたま新都心（代表）まで

ホテルメトロポリタン さいたま新都心

本件に関するお問合わせは、日本ホテル株式会社 ホテルメトロポリタン さいたま新都心 広報担当 小林まで
〒330-0081 埼玉県さいたま市中央区新都心 11-1 TEL 048-851-1126
E-mail masashi-kobayashi@metropolitan.jp